

## タイムテーブル（授業構成）

時間	授業内容
0:00～0:15	導入 <ul style="list-style-type: none"><li>・セミナーのスケジュールと目的の説明</li><li>・症例の提示（DVD） 模擬患者と医師の会話を DVD で視聴する。</li><li>・症例検討で行ってもらうことの説明</li></ul>
0:15～1:25	生徒による症例の検討 <ul style="list-style-type: none"><li>・医学書を用いて、DVD で視聴した模擬患者の症例を検討。</li><li>・こういった病気を考えるべきか、どのような項目の聴取や診察、検査が必要かを話し合い、模造紙にまとめる。</li><li>・青松先生がまとめた模造紙について専門的に解説を行う。</li></ul>
1:25～2:00	ポータブルエコー体験（ハンズオン） <p>腹部エコーを用いて、実際の診断に必要な検査を体験する。ファントム（模型）を用いた診断に始まり、希望する生徒は自らの身体でエコーを体験する。骨は超音波を通さないため黒く映るなど、実体験を通して理解を深める。</p>
2:00～2:50	医療倫理的問題が生じた際の対応について検討 <ul style="list-style-type: none"><li>・医療倫理の四分割表を紹介。</li><li>・グループで患者の希望と治療の方針が一致しない場合の対応について話し合いを行い、発表を行う。</li></ul>
2:50～3:00	まとめ <p>医療における Biopsycosocial Model</p>